

刈谷市報道関係情報提供資料

令和4年9月7日提出

件名	【刈谷スマートシティ】 歩行訓練ロボット等のフィールド実証を開始します（刈谷スマートウェルネスプロジェクト）
日時	令和4年9月8日～令和4年12月
場所	市内
関係者	刈谷市、医療法人豊田会、市内の病院・リハビリ施設及び介護施設、株式会社ジェイテクト
目的 (効果等)	福祉分野におけるスマート化のモデルケースの構築を図ります。
内容	<p>○歩行訓練ロボット等のフィールド実証の実施について</p> <p>(1) 実証期間 令和4年9月8日～令和4年12月</p> <p>(2) 実証施設 市内の病院・リハビリ施設及び介護施設 計6施設</p> <p>(3) 実証内容</p> <p>①歩行訓練ロボットを活用した訓練の効果検証</p> <p>②専用アプリを使った歩行能力の可視化による診断支援の有効性の検証</p> <p>※実証内容の詳細につきましては、別紙をご参照ください。</p> <p>【参考】刈谷スマートウェルネスプロジェクト</p> <p>愛知県スマートシティモデル事業の採択を受けて実施するもので、地域医療・介護のスマート化のモデルケース構築に向けて、次の3件のフィールド実証を実施する。</p> <p>(1) 5Gを活用した救急医療分野のフィールド実証</p> <p>(2) スマートデバイスによる遠隔診療</p> <p>(3) パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボット等のフィールド実証</p>
問合せ先	企画財政部企画政策課 (TEL0566-95-0003)

刈谷スマートウェルネスプロジェクトの実施について

医療分野から介護・在宅につながる福祉分野のスマート化

○歩行訓練ロボット等のフィールド実証

【概要】

高齢者の増加とともに、高齢者のQOL向上、健康寿命の延伸等への関心が高まっている。それに伴い、自立度の向上、介護予防につながる歩行能力の維持向上の必要性も増してくることから、ロボットを活用した歩行訓練と、デジタル技術による歩行能力の可視化を実施し、歩行訓練の精度向上を検証するとともに、職員の負担軽減の有効性を検証する。

【実証内容】

歩行訓練ロボット



歩行能力の可視化



- ①通常の歩行訓練に替えて、歩行訓練ロボットを活用し、訓練を実施
(腕振りモード、負荷モードなどモード切替により、患者の状態に合わせた訓練を実施)
- ②専用アプリで訓練履歴を記録
- ③従来の訓練方法と比較し、歩行訓練ロボットを活用した訓練による効果を検証

《使用製品》

「J-Walker テクテック」((株) ジェイテクト製)

- ①開発中アプリにより、歩行中の動画を撮影
- ②撮影した動画をAIで解析し、歩行状態が見える化
- ③異常箇所等を自動で表示し、歩行診断支援の有効性を検証
- ④解析した動画に対して、理学療法士による診断の見立てと今後の訓練方法をアプリへ入力
- ⑤解析した歩行データから読み取れる理学療法士の見識をデータとして蓄積することで、アプリの改善につなげる

【実証期間】

令和4年9月8日から令和4年12月まで

【実証施設】

刈谷市内の病院・リハビリ施設及び介護施設
計6施設

＜参考＞

実証で活用する製品に関する問い合わせ先

株式会社ジェイテクト アクティブ・ライフ事業部
TEL : 0566-25-5193